



紀の川市青少年センターだより

令和5年10月発行【No.175】

育み学ぶ元気なまち～ともに育み生涯学ぼう～
『地域社会全体で青少年を見守り育てる』

紀の川市青少年センター
〒640-0412 紀の川市貴志川町上野山256
TEL 0736-64-9888 FAX 0736-64-9889

朝夕めっきり涼しくなり秋の気配が感じられようになり、爽やかな秋空が美しい季節となりました。この秋には、小学校では運動会、中学校では修学旅行などの行事があります。他にも文化的な行事や体育的行事もこれから多く行われ、子供達にとっては、学習にスポーツに充実した時期を迎えます。この秋が爽やかな秋になるように、それぞれの機会で大いに頑張ってもらいたいと思います。



青少年センターでは9月に『夏季休業後の学校訪問』として、市内の各中学校を早朝より訪問させていただきました。登校時刻まで校区内をパトロールしてから学校に入り、校門付近で挨拶運動をしました。登校してくる生徒達に「おはよう」と挨拶をしながら出迎えると、生徒達も明るく気持ちのよい挨拶を返してくれたので、爽やかな朝のひとつきを過ごすことができました。その後、校長先生から夏休みから新学期にかけての様子を聞かせてもらいました。どの学校も大きな事故・事件や問題行動もなく、落ち着いて学校生活を送れているとのことでした。学期始まりの忙しい時に対応してくださった先生方、ありがとうございました。



打田中学校

- 各校の訪問日
- 9月4日(月) 荒川中学校
 - 9月5日(火) 粉河中学校
 - 9月6日(水) 貴志川中学校
 - 9月7日(木) 那賀中学校
 - 9月25日(月) 打田中学校



那賀中学校

令和5年度第1ブロック高等学校生徒指導研究協議会 紀北青少年センター連絡協議会合同研修会 令和5年9月5日(火)

県立粉河高等学校会議室において、「青少年の薬物乱用について」という演題で岩出警察署防犯課狩野哲也氏による標記の合同研修会が開催されました。その後、情報交換会を行い各高校の生徒の状況や各青少年センターの状況などを交流しました。



第2回県青少年センター連絡協議会 センター長・理事会議 9月15日(金)

田辺スポーツパーク多目的ホールにおいて、県内に21設置されている青少年センターの代表と3部会(行政職員・教育職員・警察職員)の部会長と県関係部局の職員が一堂に会して上記の会が開催されました。「県青少年センター連絡協議会研修大会開催要項」についての協議や各センターの補導委員会の活動状況について交流をしました。



和歌山県麻薬・覚醒剤・大麻乱用防止運動 10月1日(日)～11月30日(木)

本運動は、薬物乱用を未然に防止するために、関係機関や団体が緊密に連携し、薬物乱用による危害を広く県民に周知し、県民一人一人の認識を高めることによって、薬物乱用の根絶を図ることを目的としています。近年では、国内の大麻事犯検挙人員が過去最高を更新し、特に30歳未満の大麻事犯検挙人員は大麻事犯全体の7割を占める深刻な事態になっています。

令和5年度紀の川市青少年健全育成推進協議会

紀の川市青少年補導委員会合同研修会 令和5年9月13日(水)

9月13日(水)午後7時から打田生涯学習センター視聴覚室において、「令和5年度紀の川市青少年健全育成推進協議会・紀の川市青少年補導委員会合同研修会」を4年ぶりに開催しました。

和歌山県環境生活部県民局青少年・男女共同参画課健全育成支援班 操本隆紀 氏より、「県内青少年のインターネット・SNSのトラブルについて」と題して、青少年のネットトラブルの現状について講演をいただきました。井尻会長、貴志教育長をはじめ66名の参加のもと日頃から子供たちと接している推進委員・補導委員や学校関係者にとって実りある研修となりました。



【講演の概要】

- ネットの良い所と悪い所について、参加者が隣の席の人と話し合った。参加者からは、良い所として「情報がすぐ手に入る」「友達が増える」、悪い所として「目が疲れる」「やめられない」「情報が偏る」等が出されましたが、子供たちに聞くと、悪い所ががたくさん出てくるそうです。
- 学校の先生が見えない所で、ネットゲームやSNSでのトラブルが起きている。
 - ・知らない人と出会う。(悪い人に出会う) ・ゲームを上手にできない子供がネットの中でいじめられる ・SNSで誹謗中傷を受ける ・ゲームへの高額な課金や依存・・・
- 今の子供は、2歳で6割がネットを使用している現状(YouTubeが育児の道具に)
総務省の調査では、1日の使用時間の平均は、小学生3時間33分、中学生4時間37分、高校生5時間45分という結果が出ていて、4時間以上の長時間使用の子供がトラブルに合う確率が高い。また、10歳で61%の子供がスマホを所持しているという結果が出ている。小学4年生から情報モラルの学習が必要な状況にある。
- 今、子供達はこんなことも
 - ・県内のある町の調査では、会ったことのない人とネットでやり取りをしたことがあると答えた人の割合は、小4で24%であり、その内の3%の子供が実際に会っていると答えた。ちなみに、高校生になると半数以上が知らない人とやり取りをしていると答えている。
 - ・親のスマホを使ってゲームをさせていたところ、気が付けば高額課金に(親のスマホに保存してあるパスワードを使って課金をしたため)
 - ・ネットパトロールの画像をもとに、県内青少年のネットトラブルの現状を知ることが出来た。
 - ・今、子供の性被害の中で最も多い被害がネットで知り合った人に性的な写真を送る「自撮り被害」である。
- 親が一方向的に決めるのではなく、子供としっかり話し合いながらのルールづくりが大切。(説得ではなく納得)
一度決めたルールは、定期的に見直すことも必要。ルールづくりのポイントとして、「最初は厳しく」、「関わる大人が事前に相談をする」「落としどころを用意しておく」が大切である。

発生日時	発生場所	事象内容	不審者の特徴
9月5日(火) 8時30分頃	打田地区	池田新信号付近を中学生男子が自転車で登校途中、すれ違った自転車に乗った男性がUターンしてきて、「打中か?」「遅刻遅うんか?」と声をかけてきたので、怖くなり粉河方面に逃げた。	水色の服・麦わら帽子 紺色の長ズボン 175cmくらい 60歳~70歳くらい

《補導統計》 紀の川市 令和5年9月分

行為別	種別人数		学 識 別										4月からの累計
			小学生		中学生		高校生		有職無職		その他		
	種別	計	男子	女子	男子	女子	男子	女子	男子	女子	男子	女子	
不良行為	喫煙	4					2	1	1				22
	怠学												2
	深夜徘徊	7					4		3				50
	その他												4
犯罪・触法	窃盗												2
	暴行・傷害												1
	恐喝・他												1
総数		11					6	1	4				82



※備考
件数については
岩出警察署の補
導件数を含んで
います。